

# ともしに新聞



第7号

〇二〇二三年(令和五年)三月  
〇鞆の浦学園 学園会

## 九送会の報告



三月三日の一時間は一〇九年生までの縦割り班で遊びました。八年生が中心になってみんな楽しんで企画を考えてくれました。

九年生の笑顔が見られて私たちも嬉しかったです。二時間目は五年生以上が体育館に集まってクイズ大会や、思い出ムービーを見ました。私たちが九年生のために一生懸命作った〇×クイズや思い出ムービーを見て、みんなが笑顔になってくれたことが心に残っています。

九年生の皆さんご卒業おめでとうございます。これまで学園を引っ張ってこられた姿は、輝いていました。

9年生の皆さん！  
次の舞台で活躍してください。



## 「絆」リリース

N07

今年度も、残りわずかとなりました。今回、先日卒業された岡崎君・古山さんからバトンを受けたのは、PTA会長を務めておられる古山貴規さんです。まず、私たちにPTAの意味について分かりやすく教えて下さいました。

P は、ペアレンツ(親)

T は、ティーチャーズ(先生)

A は、アソシエーション(協会) を意味するそうです。

先生と親の考えを一致させてみんなの力で子供を成長させるのがPTAという組織だ。」と熱く語って下さいました。

生まれ育った鞆に少しでも恩返しをしたい、鞆の浦学園の子どもたちがよりよく成長して欲しいという思いで、PTA会長を引き受けてくださったそうです。PTA会長に就任されてからは、今までやってきたから今年も続ける」ではなく、児童生徒にとってプラスになるのかならないのか」という視点で無駄をなくしていくことに尽力されたそうです。「これまで私たちのことを考えてくださっている大人がられることに感謝を受けました。

次に鞆の浦学園は、どんな学園だとおもわれているのかについて伺ったところ次のようなことをおっしゃっておられました。

- ・チャイムがなくても、子供が時間を守って勉強をはじめるとは本当にすごい。
- ・A・L・Tの先生が毎日学校にいてくださることは他の学校には無い。

(鞆の浦学園の児童生徒の英語を聞き取る力は他の学校と比べてダントツだと思う。)

一〇九年生が学年を超えて交流できるすべてが私たちの心に響く、愛のこもった言葉でした。古山さんお忙しい中ありがとうございました。

最後に、鞆の浦学園の皆さんにメッセージをいただきました。元気に頑張れ！」



## ありがとうを伝えたい

N07



今回、ありがとう」を伝えたいのは、六年生の鞆学でお世話になった月岡さんです。

月岡さんは、六年生のために、動画づくりのことに教えて下さいました。そんな月岡さんは、普段からパソコンに関する仕事をされているわけではなく、関係する仕事をされているわけではなく、KIPDONA 鞆港町」という宿泊施設で働かれています。

今回教えてくださった動画編集」の知識は、なんと学生の頃に自ら学んだそうです。私たちも取材をして驚きました。

将来は、観光客が気軽に泊まれるような宿泊施設を、鞆につくり、鞆の良さをたくさんの方に知ってもらいたい。」と話されていました。六年生と授業をした際には、一人一台タブレットを持っていることや、編集に関する基礎知識があることにびっくりされたそうです。

最後に月岡さんから、助けられる人は直ぐ側にいるから、周りの人を頼ったり、相談したりすることが大切です。」というメッセージをいただきました。鞆には素晴らしい方がたくさんいます。私たちもたくさんの方の力を借りて、鞆をもっと素敵な町にしていきたいと思えました。また、六年生は鞆」の魅力が詰まったロゴ動画を、広めていきます。

月岡さん快くインタビューを引き受けてくださり、ありがとうございました。

月岡さんは、ゲストハウスを作るという夢に向かって努力されているのを知って、自分のやりたいことがはっきりされていて尊敬しました。これから、自分の夢を見つけて努力できる人になりたいと思いました。

(六年 沖浦 帆奏)

